

令和5年度 学校運営協議会だより 第1号

令和5年5月15日

—— 令和5年度 第1回 学校運営協議会を開催しました ——

4月20日（木）に今年度1回目となる、学校運営協議会（兼コンプライアンス委員会）を開催しました。

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度はこれまでの学校評議員会から発展し、学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。平成29年度より法制化による設置義務が課され、本校でも一昨年度より協議会を設置しています。

今年度の委員は、地域の様々な分野で活躍されている皆様、本校校長、副校長、事務長、教頭、部主事、他分掌課長等と、PTA本部役員によって構成されています。以下、目的と委員の皆様のご紹介、今回の会のご報告をします。

- ◎ 目的 ・ 令和5年度 学校経営計画の提案を受け、委員による意見交換や共通理解を基に、今年度の本校の学校経営について承認をいただく。
- ・ 委員による校内参観を行い、本校や本校の児童生徒への理解を深める。

◎ 学校運営協議会委員

| | | | |
|-------------------------|---------|--------------|---------|
| 前小山町教育長 | 天野 文子 様 | 御殿場市 尾尻区長 | 塩川 満 様 |
| トヨタ自動車（株） 東富士研究所管理部 | 天野 安明 様 | 御殿場市役所富士岡支所長 | 坂上 剛 様 |
| 社会福祉法人ステップワン 理事長兼施設長 | 根上 豊子 様 | 本校PTA本部役員 | 鈴木 里美 様 |
| 御殿場市役所危機管理課 | 中村 信雄 様 | | |

◎ 当日の様子と内容

○校長挨拶

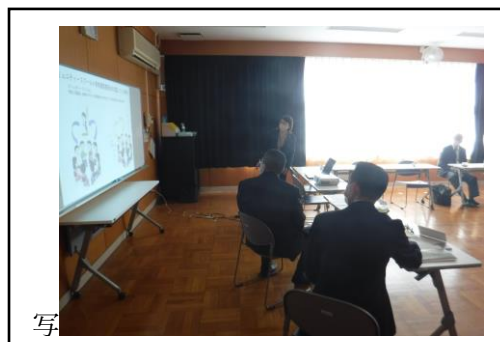
学校評議員会制度から学校運営協議会制度への制度変更、コミュニティ・スクール、地域学校協働本部、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）について、委員の皆様と内容や用語を改めて確認しました。この制度を活用することで、本校をはじめとする特別支援学校に対する地域の理解が深まること、地域資源の活用による実際的な体験学習の積み重ねにより、子どもたちの主権者意識、当事者意識が高まること、ひいては地域の活性化につながるなどについて期待し、委員を引き受けていただいた皆様への感謝が伝えられました。

○校内参観

小学部、中学部、高等部それぞれの知的障害学級、肢体重複学級を参観していただきました。教員が前に立って話し、一斉に行われる授業、個別の課題にそれぞれが取り組む授業など、個々の実態に合わせた授業の様子に興味をもって参観していただきました。

○協議・質疑

校長より今年度の学校経営計画について提案がありました。今年度より学校教育目標を「自分らしく のびやかに たくましく」に改めたことについては、10年後の未来を見据え、多様な在り方、生き方が認められる世界になりつつあることを踏まえ、先の見えない激しい変化への対応や、多様性を受け入れる「のびやかに」、そのような世界でも力強く毎日の生活を送り、自分の生活をしていく「たくましく」、の願いを込めて設定したと説明がありました。



また、各学部目標について、小学部主事からは、小学部段階では基礎基本を身につけ、自分から活動することをねらい、繰り返しの活動をとおして見通しをもったり興味関心を高めたりし、好きなことや得意なことを増やすことで生活を広げていきたいとの説明がありました。中学部主事からは、縦割りや学年を超えた集団活動が増える中学部においては、集団でのかかわりを大切に学習を重視しつつ、一人ひとりの個性や特性が発揮できる支援や環境整備にも努めていきたいとの話がありました。高等部主事からは、全て自分ひとりで行うことを自立ととらえるのではなく、主体的に考え、自ら行動することを自立ととらえ、そのような生徒を育てるために自己肯定感を高めるための「対話」を大切にしている、との説明がありました。併せて、自分で未来を創っていく、自己実現していく生徒を育てたい、との話がありました。

委員の皆様からお話をいただき、塩川委員からは「社会に出て仕事ができる生徒がいるということに、驚きを感じた。応援したい。」、鈴木委員からは「学部ごとにそれぞれの段階に合った素晴らしい目標やねらいとなっている。様々なことができるようにチャレンジしてほしい。」、坂上委員からは「地域や地域の他校との交流も大切にしながら、目標に向かって教育活動に取り組んでいただきたい。」との御意見や励ましの言葉をいただきました。



続いて、校長から学校経営計画における「目標具現化の柱」について提案がありました。「ア 授業力」については、12年間の指導が繋がっていくように、教育内容やキャリア・パスポートの位置づけ、学部間のつながりについて改めて点検すること、「イ 安心力」については、安心して日々の生活を送るための心の在り方を学ぶ機会を設け、美術や音楽などでの表現を大切に、自他を認め、自他を受け入れる多様性を身につける教育を行うこと、「ウ 共創力」については、「協力」⇒「協働」⇒「共創」のバージョンアップを図り、本校のセンター的機能を発揮することで地域の特別支援教育を支えていくこと、「エ チーム力」については、本校の教員は仕事を楽しみながら取り組んでいると認識しているが、やりがい（ワーク・エンゲージメント）の視点からも働き方を見直していくこと、以上アからエまでの4つの項目に沿って説明がありました。以上の説明、協議の結果、出席いただきました委員の皆様には、本年度の学校経営計画について御承認をいただきました。また、欠席された委員の方には、資料をお送りしてこちらでも御承認をいただきました。

○コンプライアンス委員会

教頭より、昨年度までの不祥事根絶研修を発展させ、教員一人ひとりが明るく前向きになり、それぞれの豊かなコミュニケーションによって何でも話せる、言える職場の雰囲気作りをすることで、ひいてはコンプライアンス意識の向上を促そうとする今年度の取組みについて説明がありました。「マインドフルネス講座」や「アンガーマネジメント講座」など、特色ある取組みも実施することを提案しました。